



『リチャード二世』(2015年4月) Photo: Maiko Miyagawa

さいたまゴールド・シアター 15年の卒業展

世界的な演出家、蜷川幸雄の手で2006年春、さいたま市に平均年齢66歳、最年長は80歳という異色の演劇集団、「さいたまゴールド・シアター」が生まれた。長い歳月を生き抜き、さまざまな経験を積んだ人々の身体表現、感情表現から今までにない演劇を生みたい。蜷川の思いは1200人を超える応募を呼び、48人の劇団が旗揚げした。

基礎からの練習、蜷川が情熱を投入した演出を経て、劇団は数々の舞台で花開く。そして蜷川が09年に立ち上げた若者の演劇集団「さいたまネクスト・シアター」とのコラボレーションで、年代を超えた役者たちの思いと演技が爆発。海外公演にも成功した。

16年5月の蜷川の死を乗り越え、老いと闘いながら活動を続けてきたゴールド・シアターはこの冬、『水の駅』公演(12月19~26日)をもって終幕を迎える。15年以上にわたる役者たちの歩みを、本拠地、彩の国さいたま芸術劇場の舞台や稽古場での写真・パネルで振り返る。

会期 | 2021.12.28[火]~2022.1.30[日]

平日 | 9:00 - 19:00

土日祝(12.29 - 1.3を含む) | 10:00 - 18:00

※入場無料

会場 | 汐留メディアタワー・ギャラリーウオーク

(共同通信社本社ビル3階デッキ)

東京都港区東新橋1-7-1

主催 | 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

協力 | 一般社団法人共同通信社

ニナガワカンパニー、宮川舞子

HP | <https://www.saf.or.jp/>

E-mail | eigyou@saf.or.jp



彩の国さいたま芸術劇場 営業広報課 (劇場休館日除く)